広告

負けんけんね！ 広島大学

広島市出身で、
俳優として数々のドラマや映画で活躍する
戸田菜穂さんに、広島大学の越智光夫学長と
語り合っていただきました。

俳優 戸田菜穂さん ｜ 対談 ｜ 広島大学長 越智光夫

地元広島に寄せる思い

越智　戸田さんは広島市のご出身で、お父さまの戸田康次郎先生は、広島大学歯学部の2期生だそうですね。

戸田　私は広島で生まれ、高校まで広島で過ごしました。祖父母の家に行くたびに、東千田にある広島大学の前を通っており、すてきなキャンパスという印象がありました。今も広島が好きで、よく帰省しています。それだけに、昨年7月に広島県内をはじめ各地に深い爪痕を残した西日本豪雨は、本当に心が痛みました。広島大学もさまざまな取り組みをされたと伺っています。

越智　災害発生から間もなく、私を団長に各分野の研究者約40人による「広島大学平成30年7月豪雨災害調査団」を立ち上げました。9月20日には、新たな学際的研究集団組織として「防災・減災研究センター」を設置しました。土石流や洪水など、複合要因によって被害が拡大する「相乗型豪雨災害」が中心テーマです。国内外の有力研究機関とネットワークを形成しながら、世界レベルの研究拠点として、災害科学に関する最先端の学際研究を展開しています。

戸田　地域住民や自治体の皆さんが、広島大学に寄せる期待は大きいと思います。学生さんたちも、自発的にボランティア活動に行かれたそうですね。

越智　被災直後、東広島市内の幹線道路が寸断され、多くの車が数日間立ち往生しました。それを知った15人の広大生がSNSを通じてお米を募り、1000個以上のおにぎりを作ってドライバーに配りました。学生ボランティアも1300人を超え、自らも厳しい状況にあるにもかかわらず、困っている他者のために行動してくれたことを誇りに思います。

戸田　学生の皆さんも積極的で、素晴らしい活動をされていますね。

広島大学ならではの取り組み

戸田　広島では、小学校から平和学習が行われ、私も学んだ一人です。広島と長崎の原爆の日、そして終戦記念日と続く8月は、あらためて平和について考える機会だと思います。広島大学では、平和について何か取り組みをされていますか。

越智　広島大学は、原爆投下から4年後、廃虚と化した広島の地に開学しました。初代学長の森戸辰男先生が掲げた「自由で平和な一つの大学」を建学の精神とし、「平和を希求する精神」を理念の第一に据えています。私も、学長に就任した4年前から「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人の育成」をスローガンに掲げています。

戸田　「平和の大学」が原点ですね。原爆が投下された日、歯科医師だった私の祖父は、自宅近くのお寺で負傷者の救護活動に当たったそうです。1950年に広島市が募集した体験記に、祖父が寄稿していたことを父から教わり、当時のことを知りました。つらい内容ですが、いつかぜひ娘たちにも読んでほしいと思います。広島大学での平和を主題にした教育は、具体的にどのような内容ですか。

越智　広島大学では、2011年度から、平和について考える「平和科目」を全学選択必修科目にしています。学部生は、戦争・原爆・貧困・人口問題・環境など28の科目群から一つを履修し、平和記念資料館などモニュメントを訪ねるレポートを作成します。2018年度からは、各国の政府代表者や駐日大使を本学に招き、平和について学生や市民に語っていただくピース・レクチャー・マラソンも実施しています。リトアニアの首相やエジプトの高等教育大臣にもおいでいただきました。平和のために何かできることを一人一人が見つけてほしいと願っています。

戸田　そのような取り組みも魅力の一つですね。広島で育った私にとって、広島大学は、研究や学問において押しも押されもしない、中国・四国地方を代表する大学です。

越智　近年では、広島大学は文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」タイプA（トップ型）13大学の一つに、中国・四国地方の大学で唯一選ばれました。また「研究大学強化促進事業」22機関にも選定されています。いずれも「10年後に世界トップ100に入る」という目標に向かって取り組んでいるところです。昨年は本学の「ゲノム編集先端人材養成プログラム」が「卓越大学院プログラム」13大学15プログラムの一つに採択されました。

「スーパーグローバル大学創成支援事業」タイプA（トップ型）

国立	北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学*、九州大学
私立	慶應義塾大学、早稲田大学

＊中国・四国では広島大学が唯一

戸田　総合研究大学、さらにはグローバル大学として躍進されていますね。日本人学生の海外派遣や、留学生の受け入れなどにも力を入れられていると伺いましたが、取り組みや成果はいかがでしょうか。

越智　まず海外経験の少ない1年生が、2週間ほど海外の大学などに留学する「STARTプログラム」という取り組みを実施しています。費用の一部を大学が負担し、新入生2500人の1割に当たる250人前後の学生が毎年参加しています。昨年4月には、総合科学部に国際共創学科を設置しました。ここでの授業は原則英語で、日本人と留学生が一緒に学んでいます。今年5月1日現在で、52の国と地域で314大学・機関と大学間国際交流協定を締結し、海外からの留学生数も通年で3000人を超えています。5月には、学内のカフェの一角に、外国人留学生が英語で気軽に相談でき、留学や国際交流に興味を持つ学生も立ち寄れる「ウェルカムデスク」を開設しました。

人としての力を高める

戸田　国際交流が進むと多様性が生まれ、良いネットワークづくりもできますね。就職の面でも、「企業人事担当者から見た大学イメージ調査」で、広島大学が上位に入ったという記事を見て驚きました。何がポイントになったのでしょうか。

越智　うれしいことに、対人力で1位、行動力で3位、総合でも5位になりました。また就職・転職のための口コミサイトによる「本当に良い就職をしている大学ランキング」では、北海道大学、東京大学に続いて全国3位。「就職企業の『待遇満足度』が高い大学ランキング」でも、東京工業大学に次ぐ2位となりました。本学の学生や卒業生は、真面目で何事にも全力で取り組むといわれますので、そのような姿勢が評価されたと考えています。

企業人事担当者から見た大学イメージ調査

順位	大学名	総合得点
1	九州大学	33.41
2	京都大学	32.78
3	大阪大学	32.16
4	東北大学	32.15
5	広島大学	32.06

出典：日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学2020年版」（日経HR）

総合ランキング▶全国5位の評価を獲得！
対人力ランキング▶全国1位！
行動力ランキング▶全国3位！

戸田　とても良い結果ですね。私は対人力が一番大事だと思います。スマートフォンやパソコンを通したコミュニケーションが増えたことで、面と向かって話す機会が減り、人間関係が淡泊になっていると感じます。画面を通して見るだけで知った気にならず、人と会い、旅に出るなど、汗をかく経験をしてほしいですね。

越智　失敗も含め、自ら考え動く経験は大切です。広島大学は2013年度に女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。今年度は俳人でエッセイストの夏井いつきさんに授与することになり、大学にお招きする予定です。戸田さんも、NHKの俳句番組に出演されたり、本を出版されたりと、句作に励まれていると伺っています。俳句を始めたきっかけは何ですか。

戸田　小学校の俳句の授業で、クラスで1番になったのがうれしくて、それから原稿用紙に俳句を書き留めるようになりました。そのことを話していたところ、東京俳句倶楽部の方からお誘いがあり、24歳の時から月に1度、句会に参加しています。

越智　気に入っているご自身の句を一つ教えていただけますか。

戸田　「春の月　思い出すのは声でした」という句です。私は、人を思い浮かべるとき、その人の声を一番に思い出します。出会った方々の言葉によって生かされていると感じており、監督の演技指導など、お話ししてくださった言葉を書き留めては、時折見返しています。その時は意味が分からなくても、理解できる瞬間が後から訪れることがあります。

越智　俳句はまさに、人としての幅を広げる教養の一つですね。広島大学は教養教育の講義のほか、各界で活躍するリーダーに講演していただく新入生向けの特別講義「世界に羽ばたく。教養の力」や、ノーベル賞受賞者などをお招きする公開講演会なども行っています。さまざまな人の声を聞き、異なる分野の教養も身に付け、もう一度会いたいと思われるような「人間力」を高めることが重要だと考えているからです。

人生に絶望しないで

戸田　実は学生時代のフランス旅行で、絵画や文学などの日本文化について聞かれたのですが、何も答えられず恥ずかしい思いをしました。いかに多くの「引き出し」を持っているかは、人間的な魅力につながると思います。

越智　変化の激しい時代だからこそ、一つの専門だけでなく、多様な分野へチャレンジする精神を持ってほしいですね。最後に学生をはじめ、若い人たちへのメッセージをお願いできますか。

戸田　スマートに格好良くではなく、失敗して恥もかいて、泥臭く努力して、生きるということを感じてほしいです。そしてどんなことがあっても、人生に絶望しないでください。どうしようもないと思っても、どうにかなるものです。転んでも起き上がる強さを持ち、限りある時間と命を大切にして生きてください。

越智　本日はありがとうございました。

俳優 戸田菜穂さん
1974年広島市生まれ。玉川大学文学部外国語学科（フランス語専攻）卒業。第15回ホリプロタレントスカウトキャラバングランプリを受賞し、翌年芸能界デビュー。NHK連続テレビ小説「ええにょぼ」でヒロインを演じる。その後、多数のドラマ・映画に出演。「NHK俳句」の第3週の司会を担当。舞台や司会にも挑戦し、さらに活躍の場を広げている。趣味は、俳句、三味線、小唄。著書に「恋俳句レッスン　俳句は恋を育てる」（マガジンハウス）など。

広島大学長 越智光夫
1952年愛媛県生まれ。1977年広島大学医学部卒業。2007年～2011年、広島大学病院長を務める。2015年広島大学長に就任。ひざ関節軟骨の3次元自家培養軟骨移植法を開発し、日本発の再生医療として初めて実用化につなげるなど、世界の最先端を走る整形外科医。2004年内閣府の日本学術会議会長賞を受賞。2015年紫綬褒章を受章。広島東洋カープ、サンフレッチェ広島のチームドクターとして長年選手を支えてきた。

2019年4月 2つの新しい研究科が始動▶大学院統合生命科学研究科／大学院医系科学研究科

広島大学 オープンキャンパス 8月20日（火）21日（水）

東千田キャンパスは8月21日（水）のみ

■東広島キャンパス／東広島市鏡山1　■霞キャンパス／広島市南区霞1-2-3　■東千田キャンパス／広島市中区東千田町1-1-89

オープンキャンパスに関する問い合わせ先▶広島大学高大接続・入学センター　TEL：082-424-6704　E-mail：nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp　Webサイト：https://www.hiroshima-u.ac.jp/oc

広島大学

建学の精神　自由で平和な一つの大学

基本理念　○平和を希求する精神　○新たなる知の創造　○豊かな人間性を培う教育　○地域社会・国際社会との共存　○絶えざる自己変革

■学部
□総合科学部　総合科学科　国際共創学科
□文学部　人文学科
□教育学部　第一類（学校教育系）　第二類（科学文化教育系）　第三類（言語文化教育系）　第四類（生涯活動教育系）　第五類（人間形成基礎系）
□法学部　法学科
□経済学部　経済学科
□理学部　数学科　物理学科　化学科　生物科学科　地球惑星システム学科
□医学部　医学科　保健学科
□歯学部　歯学科　口腔健康科学科
□薬学部　薬学科　薬科学科
□工学部　第一類（機械・輸送・材料・エネルギー系）　第二類（電気電子・システム情報系）　第三類（応用化学・生物工学・化学工学系）　第四類（建設・環境系）
□生物生産学部　生物生産学科
□情報科学部　情報科学科

広島大学に関する書籍が出版されました！

「地方国立大学」の時代　2020年に何が起こるのか
木村 誠著 中公新書ラクレ　880円（税抜）
【第1章】平成と大学 30年で何が変わったのか
【第2章】国立大学の今―現場で何が起きているのか
【第3章】2020年地方国立大学による「日本復活」が始まる
【第4章】広島大学の挑戦―「地方」から「世界」の大学になるために
【第5章】広島大学への問い―高校生の夢をどのように叶えるか

卒業生の皆様へ　広島大学校友会（フェニックスクラブ）へご加入ください。
学生支援事業を行うとともに、校友間のコミュニケーションを促進し、広島大学に関係する全ての個人や団体からなる広島大学コミュニティーの育成と発展を図ることを目的としています。
校友会への問い合わせ▶広島大学校友会事務局　TEL：082-424-6015　E-mail：sec@phoenix.hirodai.jp　Webサイト：https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai